

社会科学

Social Science

2 単位 (選択)

横島 康吉・非常勤講師/四国大学

【授業目的】 現代経済社会の構造と機能に関わる経済活動の相互依存関係を理解でき、数理モデルによる実証的に説明することができる力を修得させることを目的とする。

【授業概要】 経済活動の相互依存関係を国内および国際的な視点から理論的に解説するとともに、数理モデルによる実証的方法を各種資料や現実の実施事例を用いて講義形式で教授する。

【キーワード】 経済活動、構造と機能、数理モデル

【到達目標】 経済活動の相互依存関係を理解した上で、それを数理モデルで表現でき、さらに作成したモデルの評価ができる。

【授業計画】

1. ガイダンス:社会科学を学ぶ目的
2. 経済活動の事例 1(例えば、人口移動)
3. 経済活動の事例 2(例えば、生産活動)
4. 経済活動の事例 3(例えば、産業間取引)
5. 経済社会の構造変化 1
6. 経済社会の構造変化 2
7. 経済社会の機能 1
8. 経済社会の機能 2
9. 経済活動の相互依存関係 1
10. 経済活動の相互依存関係 2
11. 数理モデルの考え方
12. 数理モデルの作成方法
13. 数理モデルを用いた経済活動の実証 1
14. 数理モデルを用いた経済活動の実証 2
15. 数理モデルの評価

【成績評価基準】 授業時間中に課すレポートで評価する。

【教科書】 授業中に紹介する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216691>

【対象学生】 開講コース学生のみ履修可能

【連絡先】

⇒ 近藤 (エコ 602, 088-656-7339, kondo@eco.tokushima-u.ac.jp) MAIL